

漁海況情報

2014年(平成26年)6月 第499号

最新情報：沖縄県水産海洋技術センターHP
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。



携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)

沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

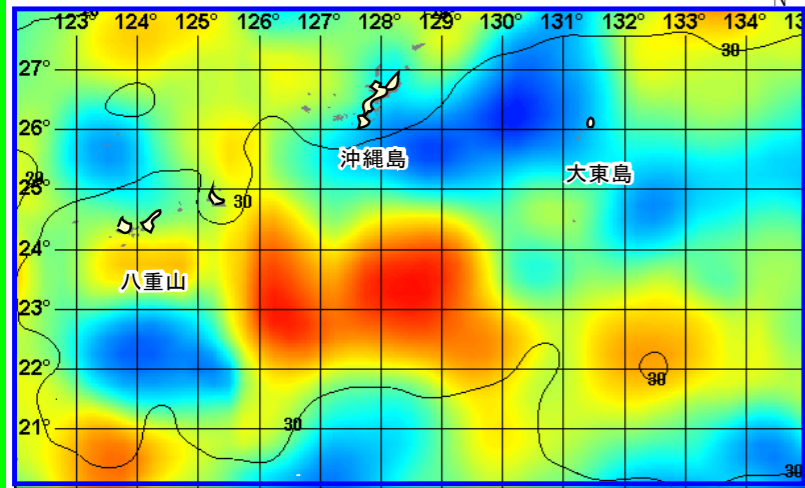


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図 (2014年8月30日)

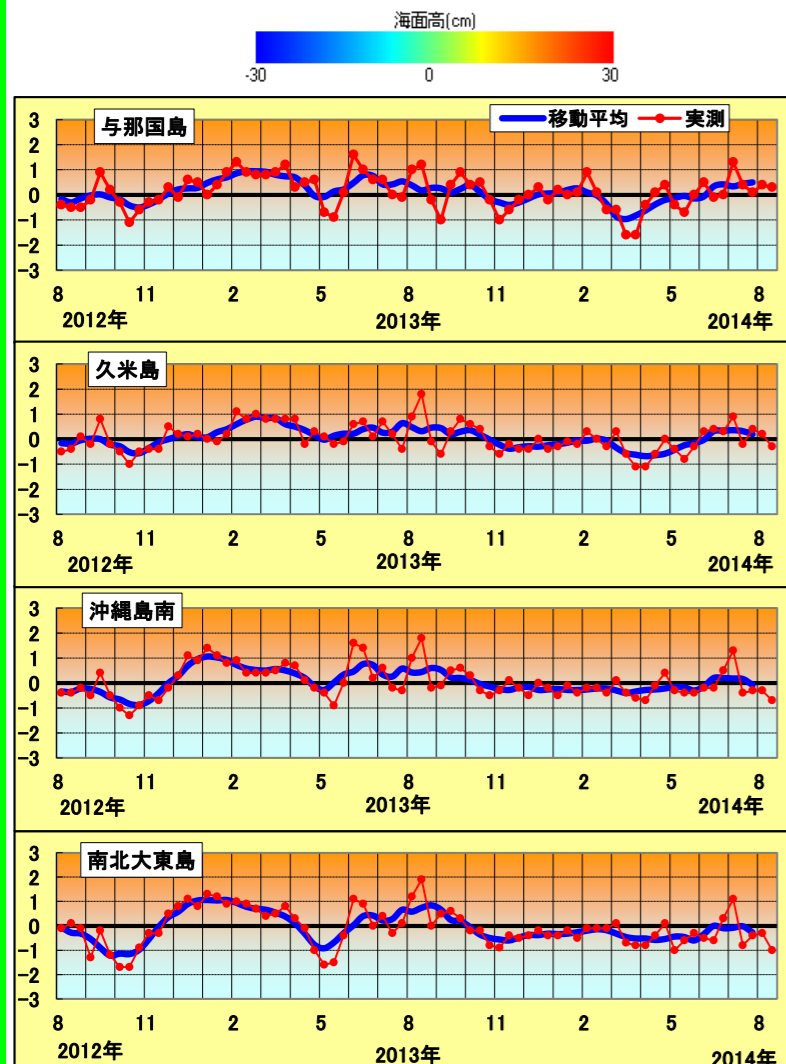


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況情報(長崎海洋気象台; 2013年4月1日以降は沖縄気象台)

水温：8月上旬までの水温は、全般に平年並み(±0.5℃程度)であったが、8月上旬に沖縄島と大東諸島近海を通過した2つの台風の影響で、中旬は沖縄島と大東諸島でやや低め(-1.0℃程度)となり、その他の海域は概ね平年並み(±0.5℃程度)となっている。一方、北緯23°30' 東経127°40' 付近には勢力の強い高気圧性(時計回り)の中規模渦があり、その海域では、周辺より1℃程度水温が高く、海洋モデルFRA-ROMSの解析ではその影響は水深500mまで達している模様。

今後1ヶ月の表面水温は、概ね、前半は平年並み(±0.5℃程度)、後半はやや低め(-1.0℃程度)で推移する見込み。

潮流：上述の中規模渦の影響で北緯25°20' ~24°00' 東経128° ~131° 付近にはかなり強い南東向けの流れが発生しており、今後1ヶ月程度は南西方向に移動しながらこの流れは維持される見込み。

参考資料

- ・気象庁：沖縄周辺の日別海水温・潮流
- ・気象庁：海水温海流1ヶ月予報
- ・沖縄気象台：沖縄県地方1か月予報
- ・水産総合研究センター：FRA-ROMS

8月中旬の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	やや低め
南北大東島	やや低め

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域ではキハダ、シビ、伊良部ではカツオ、シビ、キハダの水揚げが多かった。

表1 6月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.2	0.6	0.2	1.4	2.5	0.5	4.0
加ガジキ	0.3	0.1	1.7	0.0	2.1	0.0	5.9
沖サワラ	0.3	0.3	0.0	1.0	1.6	0.1	2.4
カツオ	0.1	0.2	0.1	0.0	0.4	18.6	20.2
キハダ	9.2	0.9	1.2	2.2	13.6	5.4	25.1
シビ	1.0	2.3	1.1	1.3	5.6	11.2	18.6
メバチ	0.0	0.0	0.0	2.0	2.1	0.0	2.8
計	11.2	4.4	4.4	8.0	27.9	35.9	79.1

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。



イソフエフキ(クチナジ、クチナギ)

糸満ではキハダが9.2t 漁獲された。港川ではシビが2.3t、キハダが0.9t 漁獲された。知念ではクロカジキが1.7t、キハダが1.2t、シビが1.1t 漁獲された。沖縄市ではキハダが2.2t、メバチが2.0t、シイラが1.4t、シビが1.3t 漁獲された。伊良部ではカツオが18.6t、シビが11.2t、キハダが5.4t 漁獲された(表1)。

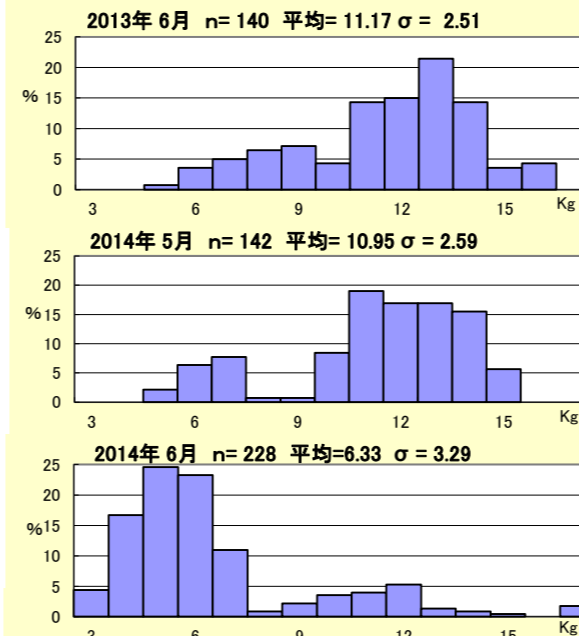


図3 糸満漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布
nはデータ数：集計したソデイカの匹数
σは標準偏差：ソデイカの大きさにばらつきがあるほど数値が大き

図3は重量から作成した頻度分布である。図4は県内のソデイカ漁獲量の推移と過去5カ年の平均を示す。6月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は6.33kgで、昨年より4.84kg小さく、先月より4.62kg小さかった。一方、6月のソデイカ漁獲量は、H23、H24の6月上回り、H22年の6月を下回った。また、過去5カ年平均値を上回った(図4)。

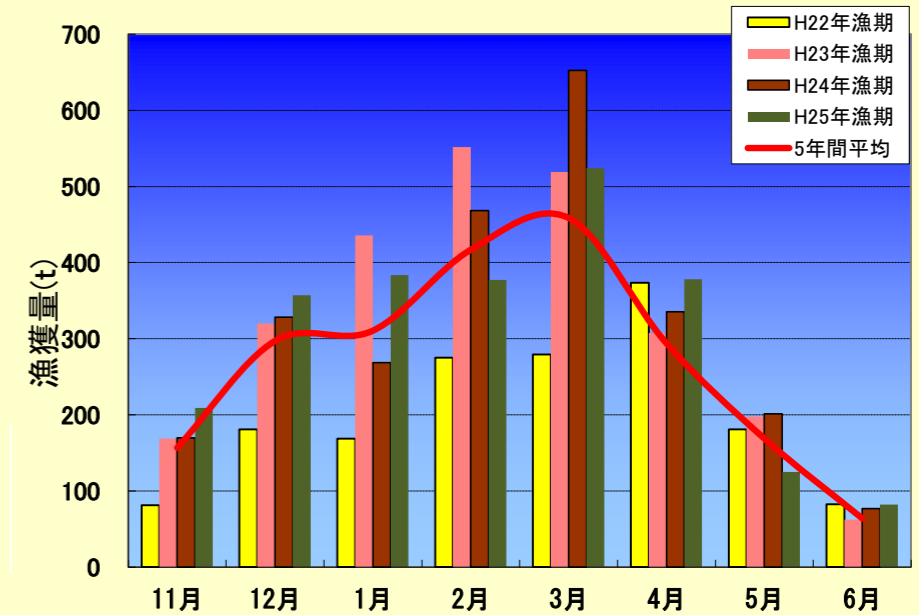
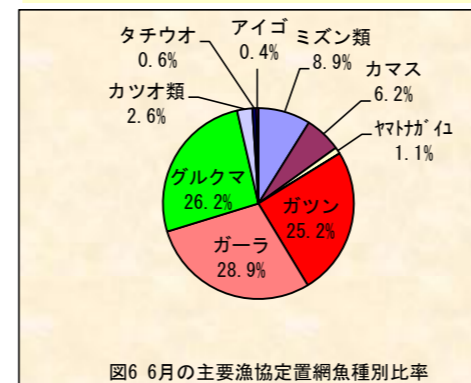


図4 ソデイカ月別漁獲量の推移

表2 6月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量	
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城			金武
ミズン類	0.0	66.9	0.0	859.5	0.0	137.7	7.1	1,071.2	1,084.9
カマス	726.4	6.5	0.0	0.2	0.0	0.0	14.8	747.9	1,070.1
ヤマトガイ	85.4	47.8	0.0	1.3	0.0	1.9	0.0	136.4	212.9
ムロアジ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
ガツン	2,945.5	0.9	0.0	37.4	0.0	52.4	0.0	3,036.2	3,176.9
ガーラ	2,102.5	1,222.9	0.0	48.7	0.0	101.6	13.0	3,488.7	3,819.3
グルクマ	3,053.6	44.9	0.0	19.8	0.0	38.6	0.0	3,156.9	3,893.0
カツオ類	294.8	15.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	312.0	323.5
タチウオ	11.7	64.5	0.0	0.2	0.0	1.2	0.0	77.6	83.2
アイゴ	1.0	1.2	0.0	16.6	0.0	14.6	11.2	44.6	144.9
合計	9,220.9	1,470.6	0.0	983.7	0.0	350.2	46.1	12,071.5	13,812.4

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。



定置網：6月の県内の漁獲状況は13,812.4kgで先月(3,670.1kg)と比べ増加した。主要漁協の漁獲ではガーラが28.9%、グルクマが26.2%、ガツンが25.2%を占めた(表2、図6)。